

7月大雨の警察官殉職事案への対応



二度と殉職事案を発生させないため、災害警備体制やマニュアルの見直しを求めます。



ライフジャケットの配備と災害マニュアルを早急に見直します。



災害警備活動における装備の高度化を進める上で、SUV型車両を導入拡大していく必要性があると考えます。



大雨災害が激甚化・頻発化しており、SUV型車両を配備できるよう適切に対処していきます。



SUV車両の早期導入に向けた予算要求を検討してください。



闇バイトへの対策



近年注目されている匿名・流動型犯罪グループについて県警察における対策の状況は。



各部門が連携して捜査を展開するΣ(シグマ)プロジェクトを立ち上げ、匿名・流動型犯罪グループの捜査などを担当する係を新設し増員による体制強化も図っています。



「闇バイト」に対する今後の対策を求めます。



若年層に訴求力がある様々な広報手段を活用して闇バイトへの応募を思いとどまるようなメッセージを掲載するとともに、チラシなど対策を強化していきます。

教員の指導力向上や働き方改革



指導力の確保につながる教科担任マイスター制度やOJT支援員の拡充を求めます。



マイスター制度やOJT支援員は、これまで小学校37校、中学校5校の計42校にて実施してきた。配置効果が確認されているため、来年度以降、配置を拡充するべく検討します。



教員の働き方改革につながる教員業務支援員の拡充についての考えは。



教員業務支援員は、教員業務の支援に従事する者であり、令和4年度は111名の配置だったが、5年度は121名まで増員し、1週・1人当たりの教員の平均総勤務時間数は、4年度に50.6時間だったが、5年度は48.6時間に減少しました。

県立高校トイレ洋式化を後押し



県立高校におけるトイレの洋式化の実施状況は。



これまで国の補助がなく県の独自財源で整備してきましたが、令和5年度末の洋式化率は、コロナ対策の交付金を活用し、前年同期から12.8ポイント上昇し53.2%となりました。



整備率だけにとらわれることなく、少子化を踏まえ、生徒数の状況を踏まえ洋式トイレ改修の優先順位を考えていく必要があります。今後の方針は。



今後は、生徒数に着目しながら、学校間で差が生じないように、生徒が最も使用する校舎のトイレ、次に体育館等のトイレという優先順位のもと、できる限り短期間で洋式化を進めていきます。



山形県議会議員

さいとう俊一郎 県議会レポート



【知事との災害視察】

「北村山公立病院へ山形県が支援」前進へ！ —東根市から〈持続可能な医療提供体制〉を目指して—

市民県民の皆さまには、いつもお世話になり有り難うございます。

10月29日に行われた県議会決算特別委員会の総括質疑にて、吉村知事をはじめ執行部に対し、「北村山公立病院へ県としての支援」や「フルーツ150周年の果樹生産強化」を主なテーマに質問や政策提案を行い、前向きな答弁を得ることが出来ました。

(詳しくは中面に掲載してあります)

県内では、7月の豪雨被害からの復旧が続いていますが、東根市内でも被災した箇所や地域について市と連携しながら対策を県としても検討しており、災害に強い山形県づくりに向け、知事と一緒に整備を実現して行きます。

これからも市民県民の幸せのため、新たな発想力で将来を展望し、県政与党の立場から東根発「あったかい県政との架け橋」として、全力を尽くして参ります。

寒さ厳しい季節を迎えますが、お身体ご自愛くださり、これからもご指導ご声援を賜りますようお願い申し上げます。

山形県議会議員 齋藤 俊一郎

さいとう俊一郎 議会等での役割

- ・会派 県政クラブ(会派協議会世話人)
- ・委員会等 議会運営委員会委員
文教公安常任委員会委員
- ・議員連盟 スポーツ振興議員連盟事務局次長

- ・(一社)東根青年会議所 外部監事
- ・東根市消防団第5分団第5部 部員
- ・(公社)山形県ボウリング連盟 副会長
- ・(公社)日本中国料理協会山形県支部 顧問
- ・東根市剣道連盟 相談役
- ・東根温泉協同組合 顧問
- ・山形県美容業生活衛生同業組合 顧問
- ・(一社)山形県浄化槽工業協会 顧問



決算特別委員会
質疑

県政へのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください!

山形県議会議員 齋藤俊一郎事務所

〒999-3773 山形県東根市島大堀255
TEL・FAX (0237) 42-2154
E-mail : saitou21passion@gmail.com

http://saitou-s.jp/



県議会 決算特別委員会 総括質疑

選挙公約の一丁目一番地

北村山地域 唯一の救急告知病院

※救急車の受け入れ病院

北村山公立病院への支援に向けた答弁を引き出す



県内救急告示病院ごとの医師数・受け入れ患者数・病床利用率について

医療機関施設名	常勤医師数(人) (R5.7.1現在) ※1	救急患者受入数(人) (R4年度) ※2	病床利用率(%) (R5年度) ※3
山形市立病院済生館	79	12,278	72.0 (病床数528)
山形県立中央病院	188	12,697	76.2 (病床数548)
寒河江市立病院	10	1,138	83.4 (病床数 98)
天童市民病院	7	1,541	91.0 (病床数 84)
北村山公立病院	21	10,500	68.4 (病床数300)
山形県立河北病院	22	3,806	66.4 (病床数110)
最上地域 山形県立新庄病院	43	9,847	76.4 (病床数311)
置賜地域 米沢市立病院	43	5,337	81.5 (病床数251)
庄内地域 鶴岡市立荘内病院	67	19,687	68.8 (病床数521)

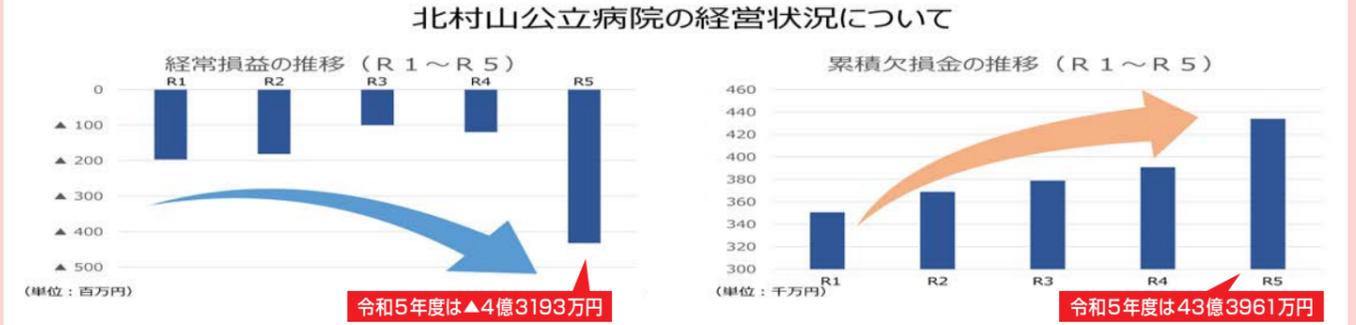
※1 出典：令和5年度 病院機能報告
 ※2 出典：R6.10.8 消防救急課調査
 ※3 出典：総務省 R5地方公共団体等決算（速報値）R6.9.27公表時点

北村山公立病院が他の病院と比較して医師の数が大きく足りないのが一目瞭然

県の医師派遣制度を活用し、北村山公立病院へ医師を配置することが必須！
 医師配置計画における北村山公立病院への配置方針、医師少数スポットの解消など対策を強く求めました。

県からは、「来年度の新たな医師配置」に向け、前向きな答弁

県の財政支援を受けない北村山公立病院の経営は一層、厳しい状況



▲病院事業の費用と収入を指す経常損益
 単年度4億円を超える赤字となり、財政悪化が深刻化

▲赤字の累計を指す累積欠損金
 県内市町村立病院のなかで、突出して赤字が多い

医師不足により財政がさらに悪化すると、救命救急(119番)に対応できない可能性も

- 山形市内の三次医療機関（県立中央病院や山形大学附属病院等）はすでに、救急対応が目いっぱい状況。
- 安定した村山地域の三次医療提供体制を維持していく上で、北村山公立病院の果たしている役割は大変大きいですが、築50年が経過し老朽化。

8月 吉村知事と東根市長をはじめ北村山3市1町の市長町長が北村山公立病院について初協議

- 今後「北村山地域の首長等で協議会を設置」し「県がバックアップ」をすることで合意しました。
- 地元県議として知事と東根市などとの調整役を担っています。

来年2025年! 山形県 さくらんぼ栽培150周年!!

現状

- **さくらんぼ** この10年で340ヘクタール、東京ドーム約73個分の面積が失われており、危機的な状況。
- 生産者数もさくらんぼをはじめ、ほとんどの品目で半減している。
- 防除に使うスピードスプレーという機械は、この5年間で物価の高騰等の影響から小売価格が3割上昇。



フルーツ150周年に合わせた「新たな生産支援策」を提案しました

- 県事業「魅力ある園芸やまがた所得向上支援事業」を制度拡大 →『高温対策』『施設整備』要件緩和・補助率引き上げ
- 物価高騰→園芸農業機械導入補助金の創設



県議会 9月定例会

7月豪雨の復旧費やさくらんぼの高温緊急対策をはじめ「過去最大」697億2000万円の補正予算案が可決

- 道路や河川など土木施設の復旧のための事業費 (約527億円)
- 農林水産施設などの復旧費用 (約82億円)
- 住宅が半壊以上の被害を受けた世帯に対する生活再建支援 (約19億円)
- 高温下のサクランボ安定生産に向けた緊急支援 (1億6100万円)
- 山形空港での国際チャーター便受け入れ拡大を見据えた機材購入費 (1億1800万円)



▲山形空港 ハイリフトローダー機材の導入に向けた調査 →事業化決定



▼さくらんぼ高温対策優良事例視察

令和6年 夏秋 活動報告

豪雨災害 対応



▲土砂災害 現場調査(酒田市)



▲畜産被害 現場調査(村山市)



▲果樹被害 現場調査(東根市長瀬)



▲【スポーツ振興】新潟県スポーツ公園ビッグスワンスタジアム視察



▲【農業振興】稲刈り実習



▲【街づくり】大森山公園クロスカントリーコース開所式典



▲【消防】東根市防災訓練にて消防団として非常消防訓練



▲【そば振興】県研究所にてそば品種開発調査